

薬剤負荷心エコー					S131
					担当部署
薬剤負荷心エコー					生理
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		同意書あり			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→生理→心臓エコー→循環器内科→薬剤負荷心エコー			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		該当なし			
検査受付時間		8 : 45～17 : 30			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	人体	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		ベッド可能			
検体受入不可基準		検査に同意を得られない患者			
保管検体の保存期間		特記事項なし			
検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		各科による			

生物学的基準範囲		該当なし			
臨床判断値		該当なし			
基準値					単位
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		該当なし			
臨床的意義		安静時から左室壁運動の低下ないし消失がみられる場合、その心筋のバイアビリティ(生存能)を判定することが重要である。壁運動の収縮予備能から判定するドプタミン負荷エコー法による心筋バイアビリティの診断は極めて有効で、他の方法に比べ陽性予測率が高く約 80～90%といわれている。			